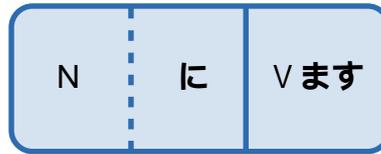


# 助 - 26 に(対象)



N : V で表す動作の向けられる人

## 基 本

### 例 文

- ① 山田先生は田中さんに本を貸しました。  
 ② 木村さんは友だちに家族の写真を見せました。

- ③ A: 先生にこれを渡してください。  
 B: はい。  
 ④ A: だれが田中さんに電話をかけますか。  
 B: わたしがかけます。

### 解 説

A. 「に」は、Nが動作・行為の向けられる対象であることを示す。(例文①②③④)

### 先生へ

「に」は助詞。

「に(対象)」といっしょに使う日本語能力試験4級相当の動詞は以下の通り。

売る、電話をかける、電話をする、会う、教える、返す、渡す、話す、見せる、貸す、頼む、手紙を出す、手紙を書く、言う

「会う」は、相手を示すとき「に」と「と」どちらも使える。

例 駅で友だちに会いました。「会う」相手がだれかを示す。

駅で友だちと会いました。「会う」という行為をいっしょにする相手を示す。

#### 【関連項目】

- 助-02 に(時)
- 助-07 に(場所)
- 助-15 に(目的)
- 助-18 に(基準)
- 助-21 に(帰着点)

#### 【「れんしゅう編」の練習】

- 10-5 手紙をください